

関西吟詩・白鷺連合会青年部結成 50 周年記念誌

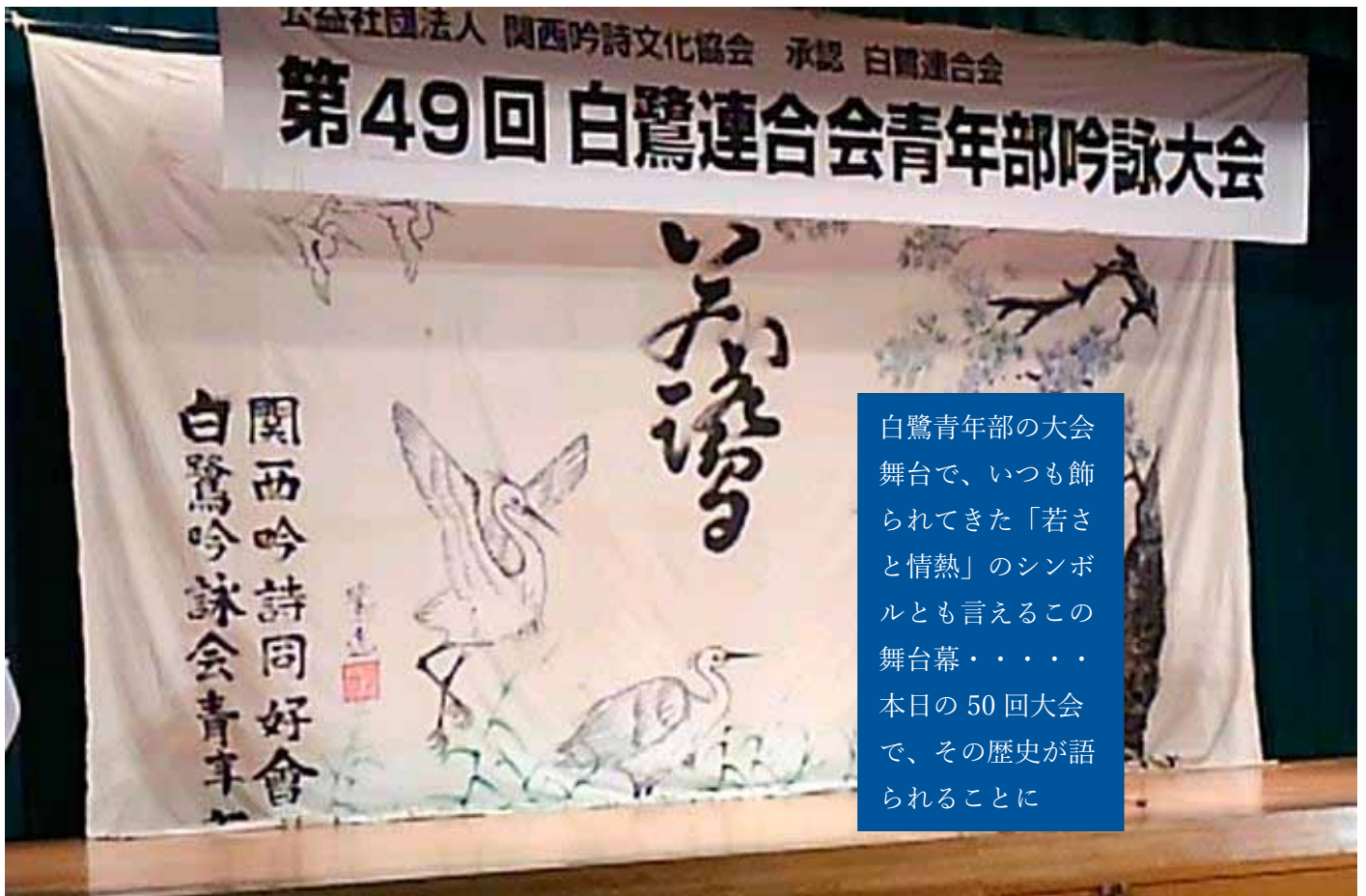
機関誌「わかさぎ」復刻増刊号

白さぎ青年部 50 年の歩み

公益社団法人関西吟詩文化協会

承認 白 鷺 連 合 会

青 年 部



白鷺青年部の大会
 舞台上、いつも飾
 られてきた「若さ
 と情熱」のシンボ
 ルとも言えるこの
 舞台幕・・・
 本日の50回大会
 で、その歴史が語
 られることに



偏覺精神壓大空
 琅玕音吐堂吹氣
 只須清越嘯長風
 莫作消沈嘆陋巷
 唱去轉教斯志雄
 吟時能使其情發
 和魂寓在詠詩中
 民性溫良又克忠

關西吟詩文化協會發
 華洋黃俊

白鷺連合會會歌 妹尾瞭孝

朗朗吟聲轟九天
鷺門一統結盟堅
尚和究道更鑽礪
流祖遺風萬世傳

朗朗吟聲轟九天
鷺門一統結盟堅
尚和究道更鑽礪
流祖遺風萬世傳



若鷺歌
 呼。朋。列。翼。向。天。翻。
 萬。里。清。風。若。鷺。魂。
 奉。仕。精。神。和。與。愛。
 連。綿。祖。訓。在。兒。孫。

七絶平起式上平声十三元韻

(読み) 若鷺の歌

朋ともを呼よび翼つばさを列らね 天てんに向むかひて翻ひらる

萬ばん里り清せい風ふう若わか鷺さぎの魂こころ


奉ほう仕しの精せい神しん和わと愛あいと

連れん綿めんたら祖そ訓くん兒じ孫そんに在あり

(親鷺の遺訓)

(和歌) 朋ともを呼よび天そらに群むれ飛とぶ若わか鷺さぎに

今きょう日にちも寄より添そふ祖おや鷺さぎの影かげ

平井岳雨 

「わかさぎ」50周年を迎えて



白鷺連合会青年部
部長 池田悦聖

白鷺連合会青年部「わかさぎ」は、今年度お陰様で50周年を迎えました。50年前に初代部長平田鷺攝先生が就任されてから、わたし池田悦聖で24代目となります。この間、部員数が激減した時期があり存続さえ危ぶまれた時がありました。その様な紆余曲折を乗り越えて我々白鷺連合会青年部は、皆様のご理解とご協力で今日まで存続できたのだと感謝しております。

世間で叫ばれているように少子高齢化で今後が心配されるところでありますが、お陰様で我が青年部は、そのようなことをものともせず、今後も躍進し続けると確信しております。白鷺連合会青年部が吟界に新しい風を送り込めたらと思っております。更に吟界のリーダーを育てて行ける場になって欲しいと思います。また、この節目の年に当たり今一度初心に帰り、諸先輩の教えを基本として新しいことに挑戦したいと考えます。

本日、平成30年2月18日 あましんアルカイクホール・オクトにて白鷺連合会青年部の50歳の誕生会を開催できますことも、皆様のお蔭だと感謝しております。この大会の目玉は、約2年前から計画していました構成吟「傾国の美女 楊貴妃」であります。部員一同忙しい合間をぬって稽古に励んできました。また、白鷺連合会青年部の部詩がなかったため、公募で募ったところ、豊岡岳豊会の平井岳雨先生に作詩をしていただき、本日お披露目となりました。

この「わかさぎ」も休刊となって、かれこれ15年くらいたちます。ここにOBの先生方のご協力により、臨時創刊号を発刊できたことを大変嬉しく思っております。

白鷺連合会青年部は、これからも永遠に躍進を続けてゆきたいと思っております。

最後になりましたが、我が白鷺青年部「わかさぎ」は、白鷺連合会「おやさぎ」の会訓「楽しく・和やかに一心向上」を目標にし、さらに吟はもとより人間として向上を続けて行きたいと思っておりますので、これまで以上に皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

了

青年部機関誌「わかさぎ」臨時増刊号発刊に寄せて



白鷺連合会会長
松尾 佳恵

白鷺青年部会員皆様方には、常日頃多方面において参加して頂き、また、白鷺連合会の色々な行事にもご協力をいただきまして有難うございます。深く感謝しております。

さて、この2月18日には、第50回白鷺青年部大会が「あましんアルカイックホール・オクト」にて開催されます。

初代青年部長（故）平田鷺攝先生、2代青年部長（故）佐々木鷺郷先他諸先輩先生方が築かれ脈々と現在まで続いております歴史のある「白鷺連合会青年部」です。

今回第50回という節目であります青年部大会、会員皆様方の参加協力よろしくお願い致します。

「わかさぎ」を発刊されますこと、久しぶりの感がありますが、白鷺連合会には機関誌「わかさぎ」が発刊されておりますので、内容等に色々と困難なところがあると思いますが、若い世代の会員減少のおり、継続して発刊して頂けたらと思います。

青年部の隆盛を心から期待しております。がんばってくださいね。

以上

白鷺青年部 50 周年を祝して



総本部青年部長 藤原 凜声

このたびは、白鷺連合会青年部第50回記念吟詠大会のご開催誠にありがとうございます。記念すべき節目の大会に、私自身白鷺青年部の一員として参加することができ、大変光栄に思っております。

私が初めて青年部に参加したのは、平成23年9月23日、奈良で行われた白鷺青年部のチャリティー大会でした。詩吟に入会してから実に8年経ってからのことでした。私には青年部なんてきっと場違いだ、と思い込み、長く参加を避けていたからです。そんな折、大会で突然、先生が私の手を引っ張り、当時の白鷺青年部長の前に立ったかと思うと「この子を青年部に入れてやってください」と仰ったのです。私は笑顔で取り繕うも、内心はドキドキでした。

「いつでも大歓迎よ、もうすぐ青年部大会があるから是非！」と優しい笑顔で部長が受け入れてくださったことを、今でも忘れることができません。

あの瞬間が私の詩吟人生を変えたと言っても過言ではないからです。

青年部というのは、まだ吟歴も浅い我々が自分の会を飛び越えて、初めて接する外の世界ではないかと思うのです。

競吟大会に出場するだけでは、なかなか他の会の方と話す機会もありません。

実際私がそうでした。青年部とは、きっと初めは緊張して当たり前なのです。

しかし、今ではこんなに温かい世界に何故もっと早く飛び込まなかったのか、と後悔さえする日々です。

特に、白鷺青年部が今日あるのは、50年もの間、青年部が途切れることのないよう、青年部OBの先生方が陰日向となって支え続けてくださり、今日までその絆を繋げてくださった賜物だと思います。

この50周年大会もまた、多くの先生方のご協力のもと出来上がったものです。

今年度、私は、総本部の部長に就任し、様々な活動をする中で、いつも根底には白鷺の支えがありますこと心から感謝しております。

青年部に飛び込むことは、まさに人生を切り拓くこと。

さあ、躊躇しているあなた、早くこちらにいらしてください。

私を青年部に導いてくださったように

諸先生方、手を引っ張って若い方々を連れてきてください。

若い皆さん、温かな青年部の世界があなたを待っていますよ！



奏



第49回白鷺連合会青年部吟詠大会

平成28年10月30日 西淀川区民ホール

白鷺連合会青年部50年の足跡

青年部大会の歩み

| | 日時 | 場所 | テーマ | 大会委員長(部長) |
|----|-------------|-------------------|---------------------------------|-----------|
| 1 | 昭和 43. 6. 2 | 柏里小学校 | 若さと情熱 | 平田鷺攝 |
| 2 | 44. 6. 1 | 野田小学校 | 青春のはばたき | // |
| 3 | 45. 6. 7 | 九条北小学校 | 白さぎのきずな | 佐々木鷺郷 |
| 4 | 46. 6. 6 | 関西大学誠之館 | 躍動 | 北田鷺仰 |
| 5 | 47. 6. 4 | 柏里小学校 | 限りなき前進 | 安田鷺迪 |
| 6 | 48. 5. 27 | 東成区民ホール | 青年の志 | // |
| 7 | 49. 4. 14 | 吹田市民会館 | 黎明 | 高見鷺播 |
| 8 | 50. 6. 1 | 住之江区民ホール | 若さの奔流 | // |
| 9 | 51. 6. 6 | 淀川区民ホール | 若さの創造 | 村上鷺魄 |
| 10 | 52. 6. 5 | 西区民ホール | 若鷺の絆・連帯と前進 | 幸田鷺宝 |
| 11 | 53. 6. 4 | 浪速区民ホール | 明日を創る | // |
| 12 | 54. 7. 1 | 西区民ホール | 若鷺の四季 | 原 龍声 |
| 13 | 55. 6. 15 | 浪速区民ホール | 激 | 馬屋原芳郷 |
| 14 | 56. 3. 1 | 浪速区民ホール | 和魂 | // |
| 15 | 57. 3. 7 | 浪速区民ホール | THE GIN | 森口雪孝 |
| 16 | 58. 6. 5 | 浪速区民ホール | 挑 | // |
| 17 | 59. 6. 3 | 浪速区民ホール | 魁(さきがけ) | 清水湧孝 |
| 18 | 60. 6. 2 | 尼崎武庫地区会館 | 創る | // |
| 19 | 61. 6. 1 | サンシビック尼崎 | はぐくむ | 酒井翔恵 |
| 20 | 62. 6. 7 | サンシビック尼崎 | 20周年記念 | // |
| 21 | 63. 6. 5 | 西淀川区民ホール | 初心 | 吉田琥孝 |
| 22 | 平成 元. 6. 4 | 西淀川区民ホール | 平成に翔け | // |
| 23 | 2. 4. 15 | サンシビック尼崎 | 輪 | 山田播弘 |
| 24 | 3. 4. 21 | 福島区民ホール | 愉しむ | // |
| 25 | 4. 4. 19 | 此花区民ホール | 25周年記念 融和・そして邁進 | 塩路澄誠 |
| 26 | 5. 6. 6 | 福島区民ホール | 遊(Yoy) | // |
| 27 | 6. 6. 5 | 福島区民ホール | 学 | 川口暘孝 |
| 28 | 7. 7. 30 | 福島区民ホール | 調和 | // |
| 29 | 8. 6. 2 | 名古屋中川区役所 | かわろまい(変わらなきや) | 森方悠恵 |
| 30 | 9. 6. 1 | 西淀川区民ホール | Shall We 吟 | 貞 江山 |
| 31 | 10. 6. 7 | 西淀川区民ホール | 希望 | 福永洋恵 |
| 32 | 11. 6. 6 | 西淀川区民ホール | 花 | // |
| 33 | 12. 7. 2 | 西淀川区民ホール | 力(ちから) | // |
| 34 | 13. 7. 22 | (株)住友金属社員倶楽部 | 癒し | // |
| 35 | 14. 6. 30 | 西淀川区民ホール | フェスティバル(祭) | 為貴誠粹 |
| 36 | 15. 6. 29 | 福島区民ホール | 温故知新 | // |
| 37 | 16. 11. 23 | 西淀川区民ホール | ザ笑(The Show) | // |
| 38 | 17. 10. 23 | 此花区民ホール | 色 万華鏡 | // |
| 39 | 18. 7. 30 | 西淀川区民ホール | 故郷(ふるさと) | // |
| 40 | 19. 9. 23 | 此花区民ホール | 歩み | 安田行軌 |
| 41 | 20. 10. 26 | 西淀川区民ホール | なにわぎん やりませ〜 | // |
| 42 | 21. 10. 25 | 西淀川区民ホール | ニーハオ | // |
| 43 | 22. 10. 24 | 此花区民ホール | Friendship!! (しらさぎのゆかいな仲間たち) | // |
| 44 | 23. 9. 23 | 奈良県歯科医師会館 | Tomorrou つなごう明日へ | 西谷苑鈴 |
| 45 | 24. 8. 26 | 此花区民ホール | 旅立ち ロード | 堀尾彦人 |
| 46 | 25. 10. 25 | 西淀川区民ホール | 雅 ~うたくらべ~ | 池田恍聖 |
| 47 | 26. 10. 13 | 台風のため中止 | | // |
| 48 | 27. 9. 27 | 西淀川区民ホール | 煌 きらめき~かなたへ~ | // |
| 49 | 28. 10. 30 | 西淀川区民ホール | 奏 かなで~つながり~ | // |
| 50 | 30. 2. 18 | あましんアルカイックホール・オクト | 「半世紀」~ここから~ | // |

白鷺青年部機関誌

若鷺（わかさぎ）

創刊号から第 33 号までの履歴表

（以降廃刊）



| 若鷺 | 責任者 | 編集者 | 表字 | カット | 発行 | 印刷 |
|---------|------------|---------------|---------------|----------------|-----------------------------------|-------------------------|
| 創刊号 | 昭和 46. 12. | 安田迪 | 高見信幸 | | 白鷺吟詠会青年部 | |
| 第2号 | 47. 5 | 〃 | 〃 | | 〃 | |
| 第3号 | 47. 12 | 〃 | 大橋紀夫・堀英夫 | | 〃 | |
| 第4号 | 48. 5 | 〃 | 〃 | | 〃 | |
| 第5号 | 49. 2 | 高見信幸 | 大橋紀夫・森口寛二 | | 〃 | |
| 第6号 | 50. 1 | 〃 | 野田弘三・中岡正邦 | | 白鷺連合会青年部 | |
| 第7号 | 51. 2 | 村上博 | 〃 | | 社団法人関西吟詩文化協会 白鷺連合会青年部 | |
| 第8号 | 52. 2. 20 | 幸田勝弘 | 是石俊明 | 野田弘三 | 〃 | |
| 第9号 | 53. 10. 10 | 原順一郎 | 〃 | 〃 | 〃 | |
| 第10号 | 54. 7. 1 | 松尾鷺恵 原順一郎 | 森口寛二 | 〃 | 社団法人関西吟詩文化協会 白鷺連合会 白鷺連合会青年部 | 白鷺ニュース第三号合併 記念号 |
| 第11号 | 55. 6. 15 | 松尾鷺恵 馬屋原芳治 | 〃 | 〃 | 〃 | 白鷺ニュース第四号合併 |
| 第12号 | 56. 3. 1 | 〃 | 高野和子 | 中嶋悦子 | 〃 | 白鷺ニュース第五号合併 |
| 第13号 | 57. 3. 7 | 松尾鷺恵 森口雪孝 | 貞江山 | 〃 | 〃 | 白鷺ニュース第六号合併 (株)関西西八嶋 |
| 第14号 | 58. 6. 5 | 〃 | 貞江山・山田播弘 | 〃 | 〃 | 白鷺ニュース第七号合併 |
| 第15号記念号 | 59. 6. 3 | 松尾鷺恵 清水湧孝 | 貞江山・山田播弘・関鴻恵 | 〃 | 〃 | 白鷺ニュース第八号合併 |
| 第16号 | 60. 6. 2 | 〃 | 山田播弘・上溝博司・貞江山 | 表紙デザイン 中井文樹 | 〃 | 白鷺ニュース第九号合併 加納印刷 |
| 第17号 | 61. 6. 1 | 松尾鷺恵 酒井翔恵 | 山田播弘・栗原播豪 | 〃 | 〃 | 白鷺ニュース第十号合併 |
| 第18号 | 62. 6. 7 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 白鷺ニュース第十一号合併 |
| 第19号 | 63. 6. 5 | 井上鷺孝 吉田玊孝 | 塩路澄誠・大橋弘郷 | 〃 | 〃 | 白鷺ニュース第十二号合併 |
| 第20号 | 平成 元. 6. 4 | | 塩路澄誠・新子紅秋 | | 〃 | 白鷺臨時号 |

| | | | | | | | | |
|------|-----------|----------------------|----------------|------------|--------------|--------------------------|----------------------------|---|
| 第21号 | 2. 4. 吉日 | 井上鷺孝 山田播弘 | " | " | " | " | " | " |
| 第22号 | 3. 4 | 井上鷺孝 山田播弘 山根鋒孝 | " | " | " | " | " | " |
| 第23号 | 4. 4 | 井上鷺孝 塩路澄誠 山根鋒孝 | 野島学声・米田秋澄・塩路澄誠 | " | " | " | " | " |
| 第24号 | 5. 6 | 井上鷺孝 塩路澄誠 山根鋒孝 | " | " | " | " | " | " |
| 第25号 | 6. 6 | 左藤鷺照 川口陽孝 | 野島学声・米田秋澄 | " | " | " | 無 | " |
| 第26号 | 7. 7 | " | " | " | " | " | 無 | " |
| 第27号 | 8. 6 | 左藤鷺照 森方悠恵 | 塩路澄誠・他編集スタッフ | " | " | " | 無 | " |
| 第28号 | 9. 6 | 左藤鷺照 貞 江山 | 川口陽孝・他編集スタッフ | " | " | " | 無 | " |
| 第29号 | 10. 6 | 伊東鷺伸 福永洋恵 | 塩路澄誠・他編集スタッフ | " | " | " | 無 | " |
| 第30号 | 11. 6 | " | " | " | " | 社団法人関西吟詩文化協会 白鷺連台会青年部 | 無 | " |
| 第31号 | 12. 7 | " | " | " | " | " | " | " |
| 第32号 | 14. 6. 30 | 安田鷺迪 | 野島翔声・為貴誠粹 | 題字 西野楊郷 | 表紙写真 松本哉孝 | (社)関西吟詩文化協会白鷺連台会 | 白鷺連台会創立40周年 記念合併号白さぎ26号 | " |
| 第33号 | 15. 6 | 安田鷺迪 為貴誠粹 | 山下正純・他編集スタッフ | " | " | 社団法人関西吟詩文化協会 白鷺連台会青年部 | " | " |

『白鷺青年部50周年』に寄せて



第10代青年部長 森口雪孝

半世紀前、昭和43年6月2日、大阪市西淀川区の「柏里小学校」において、白鷺連合会青年部の結成「第1回大会」が開催されました。

初代青年部長「平田鷺攝」を中心に準備したものの、親に逆らうような活動をするのではないかと訝る先生もおられ、大会当日まで、何人参加してくれるか不安と期待を抱きながらのスタートでありました。

大会テーマ『若さと情熱』は、こんな心配をものともせず、小学校の講堂は満席となり、若さと情熱を發揮した大会でした。

それから14年後、昭和57年に第15回大会を浪速区民ホールで開催、青年部長を拝命した私は第10代目でした。前回大会までは、吟道は礼節を重んじるものであり、服装は正装を旨とすべしと心得ていました。

しかし、初めて参加する若者にとっては堅苦しく感じられ、青年部大会くらいはフランクな服装を望む声が聴かれるようになりました。

役員と相談し、ノーネクタイの青年部大会にしようとの結論に達し、親鷺の先生に相談したところ、二つ返事で了解を得ました。

この大会以降、毎年ティシャツを製作し、略礼服やスーツ姿の友好支部来賓に記念品として渡して着用してもらい、肩の凝らない和気あいあいとした大会を開催することとなりました。

また、青年部機関紙「わかさぎ」も親鷺の活動経過報告や活動計画のニュース記事を取り込み、白鷺連合会の会員の協力を得て、これまでの発行部数、300部から2,000部に増刷して購入していただき、青年部の活動財源を豊かにすることができました。

この財源により、白鷺傘下の各支部青年部訪問や交流を行い、活発な青年部活動を推進することが出来たのです。

近年は、吟界における若年層の激減のため、以前のような活動は不可能に思えますが、「若さと情熱を」を持って活動を続けて行けば、必ずや将来は明るくなると信じています。

青年部50周年を節目として、「若さと情熱」で次代を担う仲間作りに邁進されることを期待しています。

以上

青年部の四半世紀を担当させていただいて



第15代青年部長 塩路澄誠

私が青年部長を拝命して担当させていただいたのは、平成4年から5年にかけての一期2年でありました。まさに年齢的にも39歳～40歳という脂が乗りきっていた時代でした。

25周年という四半世紀の節目にあたることになり、記念大会を開催しなければなりません。

役員会合の後には、毎回、仲間たちと必ず立ち寄る居酒屋があり、そこでいろんな発想を次から次へと湧き出させてきたのですが、(この前年に実施して、今も大会での白鷺青年部定番になっている「飛び入り吟詠のコーナー」は、当時の毎日放送TVの長寿看板番組「素人名人会」の飛び入りコーナーを真似て組み立てました。これが大当たり！これも居酒屋談義で生まれた発想)

私には今回の25周年に、こんなことがしたいという腹案がありました。それを仲間に話をして協力を求めました。

まず一つ目、それは、関西吟詩の教本にある長詩ナンバーワンの「野口英世 松口月城作」をパート決めて30名以上の人数構成の独吟・連吟・合吟で組み立てる。それを初めての試みですが、オーケストラのように本番で指揮棒を振るというもの。

二つ目は、詩吟を音の三要素ハーモニーをつけて混成三部合吟で吟ずるというもの。

(この記念冊子にその経緯を載せていますのでご覧ください)

三つ目は、発案後3年目を迎える「飛び入り吟詠のコーナー」のワンポイントアドバイスを総本部吟士権者の来賓先生方をお願いして行うというもの。

四つ目は、歴代青年部の歴史をナレータが語り、舞台に整列で坐した歴代青年部長が、そのつどマイクの前で個性あふれる独吟を披露するというもの。

もうシミュレーションの段階から25周年は成功していました。

(「青年部四半世紀の歩み」は、この記念冊子の後ろに載せていますので、どうぞご覧ください。

25年の歴史を覗いていただけます。その後の25年が続いて今回の半世紀50年になっております。)

この25周年大会を何とか成功させたという勢いがあったからでしょうか？

総本部青年部10周年記念大会を青年部長として引き受けよという要請を受けました。まだ白鷺青年部長としての任期中でもあり、両方をかけ持つなどできないとお断りしたのですが忙しい者に仕事は任せるべきでお前ならできる！と煽てられ、家族を含む多方面の方々のご支援を得ることができ、お引き受けしました。総本部前青年部長であった池田菖黎さんの時には、優秀な青年部員がたくさんおられました。幸いにもその陣容をそのまま引き継がせていただきましたので、本当に助かりました。ただ、私も白鷺青年部25周年を成功させたという自負心がありましたので、総本部青年部役員の皆さんに、今回の総本部青年部10周年の腹案を述べ協力を求めました。

一つ目は、名古屋支部(現在の鷺伸吟詠会)青年部大会で行われたミュージカル構成吟「楊貴妃物

語」演劇仕立てを「劇団吟友」（劇団四季を真似て）旗揚げ公演と題して、全国区として衣装なども豪勢に、楊貴妃は大阪の絶世の美女に、玄宗皇帝は片山纓伸さんに、その他の配役に全国から加入してもらい、グレードアップしておこなうというもの。

（当時の実演ビデオテープをDVDに作り直して上映会をされました。本日の白鷺青年部50周年大会の構成吟でリバイバルカバーとして再現されます。）

二つ目は、「総本部青年部10年の歩み」という記念誌を作るというもの。

三つ目は、プログラム冊子を背広ポケットやハンドバックにそのまま納めることができるように折りたたみ式にして、広げればタブロイド判の電車で広げることができる新聞のように、会場座席で広げても邪魔にならない大きさに拘ったものを作るというもの。

（これは、ほんとにコストがかかるので、本来は無理であるところ、時のカノウ印刷さんが心意気を買ってくださり、印刷代予算超過分を寄付してくださって実現しました。感涙）

走馬燈のように思い起こし、ずいぶんと駄弁を弄しましたが、育てていただいた親鷺に感謝しています。白鷺青年部にも感謝です。どうぞ、青年部のかまどを皆で大切にして、これからも新しい薪をくべて燃え上がるようにいたしましょう。失礼いたしました。

以上



白鷺青年部 50 周年を迎えて



第 19 代青年部長 福永洋恵

白鷺青年部 50 歳、おめでとうございます！50 年ってすごいですね。半世紀です。ある時は意気揚々と、ある時は粛々と、またある時は細々といろいろな事を乗り越えて継続できてきたことは本当に素晴らしいことです。

私が初めて青年部長をさせて頂きましたのは、青年部が 31 歳になった時、丁度 20 世紀から 21 世紀にかかる年でした。青年部員の数も減り、存続も危ぶまれる頃のことです。以前は溢れんばかりに青年部員がいたとのことでしたが、だんだんと青年部を卒業され、役員も少なくなり青年部長も決められず不在となり、少ない役員全員でスタッフ一同として活動しようと決めたときに、安田鷺迪先生から「ちょっと来なさい」と呼ばれました。「青年部長がないなどとは何事か、歴史ある青年部の火を絶やしてはいけないではないか」と激が飛び、私が部長をすることになりました。

初めての女性部長という事もあり不安でいっぱいでしたが、「支えるから頑張って」という周りの人たちのことばに励まされ、それから 4 年間務めさせて頂きました。部長を経験させて頂いて感じたことは、人は支えられて生きているという事。同じ方向を向いて進む仲間がいる事の喜びでした。

青年部大会のテーマは、存続を危ぶまれる青年部も希望をもって進もうということで、第 31 回は「希望」、女流少壮吟士の辰巳快水先生と池田菖黎先生のトークショーは忘れません。翌年第 32 回は女性を中心に女性だけの構成吟、女性のやさしさと新世紀に向かい大きな花を咲かせようと「花」、第 33 回は人の持っている力 Union is strength（団結は力なり）を信じ「力」、そして第 34 回は心が失われないように「癒し」と決め毎年開催することができました。

それぞれの大会にどれほどの方にかかわって頂いたか、白鷺青年部の諸先輩方の応援、白鷺会員の皆様の参加、来賓の先生にも毎回沢山出席して頂きました。友好支部の青年部、本部の青年部、白鷺の方をはじめ多くの方が、本当に暖かく白鷺青年部を応援してくださいました。感謝の一言に尽きます。

この素晴らしい青年部の火が絶えることなく 60 年、70 年更には 100 年先まで続いて行くことを祈ります。

以上

青年部長時代の思い出



第 20 代青年部長 為貴 誠粹

私が福永洋恵青年部長から部長職を引き継いだのは、平成 14 年度からでした。

その年より 2 期半、5 年間もの間青年部長を務めることになる訳です。これはこの時期一気に青年部員が激減して正に暗黒の時代というか、1 期 2 年で交代してくれる人間がいなかったからです。そして平成 14 年 6 月 30 日の部長になってから初めての青年部大会がいきなり結成 35 周年記念大会！テーマは「祭、フェスティバル」でした。この年の大会が自分でも一番印象に残っています。というのは、この時私の娘が 18 歳で泉南市吹奏楽団パーカッションのパートリーダーをしていた事から、その娘に頼み込んで吹奏楽団に来てもらい、詩吟の伴奏を作曲を含め泉南市吹にしてもらったからです。吹奏楽と詩吟のコラボ、当時の青年部の人数でよくやったなと思います。私も当時若冠 44 歳、青年部員は少なかったけれど皆のおかげで頑張れました。

翌 15 年は「温故知新」、16 年は「ザ・笑」で落語にも挑戦、笑いあり涙なしの楽しい大会だったと記憶しています。翌 17 年は「色・万華鏡」のテーマで東西南北にも青白赤黒の色があったり、万華鏡の中にある青赤紫黒白黄のそれぞれの色にまつわる吟を披露したりしました。

そして青年部 5 年目となった平成 18 年「故郷」のテーマで、仕事をしながら詩吟をしながら子育てをしながらも頑張っている男達の悲哀を「故郷」で表した様な大会だったと記憶しています。この時は、唱歌「ふるさと」を会場全体で合唱したことを覚えています。

このように 5 年にも及ぶ青年部長時代でしたが、ある意味あつと言う間に駆け抜けた 5 年でもありました。それは、やはり色々と自分を助けて下さった先輩諸氏のおかげだと思います。何かにつけフォローして下さった前部長の福永洋恵先生と北浦広恵先生、最初に自分に舞台というものを教えて下さった古賀成孝先生、兄貴のように青年部の歴史から教えて下さった塩路澄誠先生、大会当日は率先して受付や祝儀の管理等を手伝って下さった小平秋紅先生と吉田琥孝先生、青年部に人間がいなくて聞いて、島田さん、尾上さん、坂本さん 3 名もの新部員を派遣して下さった今は亡き赤松鷺篁先生、コーチ役を買って出て下さった森口雪孝先生等々、数え上げたらキリがない程、いろいろな皆様に支えられ助けられ乍らやってこられた 5 年間でした。ある意味、しんどかったけど幸せな 5 年間でした。部長を辞した時、ある大御所の先生から「一時代を築いたね」とねぎらいの言葉を頂きました。本当に嬉しい一言でした。

白鷺青年部は総本部青年部よりも長い歴史があり、自由で新しい試みにチャレンジしてきたと言っても過言ではない唯一の青年部です。これからもこのチャレンジ精神を忘れる事無く、大先生方にも媚びる事無く、恐れる事無く、斬新で面白い企画をどんどん発表して行ってほしいと思います。白鷺青年部が 50 年と言わず、60 年、70 年、100 年と続くことを記念してこの手記を締めたいと思います。ありがとうございました。

以上

青年部長時代を振り返って



第 21 代青年部長 安田 行軌

青年部長の頃の思い出と言えば…やはり少ない青年部員での活動であったと思います。思い起こせば、私が青年部長になったきっかけは、その当時の為貴部長が体調不良により部長を続けることができないというものでした。

全力で活動していた為貴部長に協力したいという気持ちはありましたが、経験の浅い私に部長ができるとは思えず断っていましたが、結局、誰も希望者がおらず「どうにかなるか」という思いで青年部長を引き受けました。

いざ部長になってみると予想はしていましたが、運営には苦勞しました。役員会を開いても出席できる青年部員が少なく、そのため会議にもならない日々、やむなく機関紙わかさぎを休刊にし、活動を青年部大会一本に集中することにしました。白鷺連合会全体を見れば青年部対象者はいるのですが、仕事や子育てに忙しい年代であり、趣味の会の集まりであることから強制はできず、なかなか青年部員を増やすことができません。このような状態でも青年部大会を継続してできたのは OB の先生方の協力があったからできたことだと思っております。

程なくした頃、新規青年部員の獲得と青年部の現状を知ってもらうために、各支部の先生方に文章を配布し、それを読んで青年部を心配してくれた先生方の協力により、本当の青年部員から気持ち青年部員の方々まで、大勢の方が役員会に参加してくれるようになったことがきっかけで、青年部員が集まりだし活気が戻ってきました。

為貴部長から引き継いだ後、途切れそうであった白鷺青年部が途切れることなく繋がり、また、経験の浅い私が無事に青年部長を全うできたのも、白鷺連合会の先生方の協力とその当時役員会に出席して頂いた OB の先生方の力添えがあったものだと感謝しています。本当にありがとうございました。

現在は、年齢もまだ若いので、現役青年部の会計を担当させてもらっています。青年部の不毛時代を体験しているので、皆さんのサポートをもらいながら活性化に人一倍のお手伝いをと思っています。

これからも宜しく願いいたします。

以上

Tomorrow つなごう白鷺 つなごう明日へ



第22代青年部長 阪本（西谷）苑鈴

「涙の数だけ強くなれるよ。アスファルトに咲く花のように・・・明日は来るよ君のために」

(tomorrow 岡本真夜)

平成23年3月11日に発生した未曾有の災害 東日本大震災。被災地が大変な状況の最中。
4月の初会議。青年部長2年目。

第44回青年部大会は「東日本大震災復興支援チャリティーin奈良」。青年大会にチャリティーを盛り込む形で開催する事に決定。テーマは tomorrow～つなごう明日へ～
詩吟を通じて少しでも何かお役に立ちたい！被災地支援を今すぐにでも！

と被災地に赴く話など支援の方法を各々に語る。早る気持ちを抑え無理なく皆でできる事。
青年部でチャリティーをしよう！被災地の事を思えば何でもできる！白鷺青年部の熱い思いでの事。

午前は青年部の吟詠大会、午後からチャリティー形式。ボランティアチーム、一般来聴席を設け奈良の若草色のTシャツで会場が一杯。当日は一般席椅子を追加したのを覚えています。

飛び込みで書家の先生に出演をお願いに上がったり、着物の端布や和柄生地を米田秋澄先生ご指導の下での青年部員手作りの箸袋、防災協会始め奈良大阪の企業から頂いた協賛品を参加記念品にしようと皆で詰め合わせ作業をしたり、パフォーマンス書道のパネルが特大で持ち込み不可の為、会場で大作業をして作成してくれた友好青年部員の力。エンディングには大会テーマソング tomorrow を手話コーラスで会場が一つに。

様々な行事が自粛ムードの時、大会を通じた私達の元気な活動が被災地を勇気づけ、被災された方々の一助となることを願いながら、昼夜問わず準備したことが今思うと楽しいひと時でした。

沢山の力の結集で、大会が盛会に終わった事で助け合いの心に皆が感動し合った。

いざという時の人間の力。白鷺の底力。結集力。

色んな知恵、工夫をこらし大会準備をしたことで、皆が心をひとつにできた。忘れえぬ思い出です。
ボランティア出演でご協力下さった関西大学、大阪経済大学、和太鼓、ダンスパチームの皆様、各種団体の皆様とのご縁、繋がり。白鷺の「和と奉仕の精神」に通じる。

当日会場で青年部員が募った募金箱の中身は、親鷺から総本部を通じ、軽めなのに被災地に沢山届けることができました。

白鷺の諸先生方にも準備段階から沢山ご参加頂き、色んな勉強をさせて頂きました。

白鷺にしかできない白鷺らしさは、大切に伝統として残していかなきゃ！

白鷺青年部での経験で得た事は宝物。

微力な私が当時、白鷺と総本部の青年部長をお引き受けできたのも、ご指導ご支援下さった青年部を育て支えて頂いている白鷺の諸先生・諸先輩のお陰です。

その恩返しは、次の世代の青年部に繋いでいく事だと思っています。

白鷺だから温かくも厳しく、また伸び伸びとした環境で活動できる。

白鷺は家族。今「白鷺連合会」に改めて感謝致します。

線路は続くよどこまでも、親鷺 子鷺に孫鷺と、はるかな未来へ僕たちを楽しい鷺（吟）の夢繋いでる。♪ララララララ。。。。。

楽しくないと続いていかない。

青年部半世紀！私もまだ青年部員。第50回記念大会開催大変嬉しく思います。

白鷺らしさを大切に。つなごう白鷺青年部！

～つなごう明日へ～

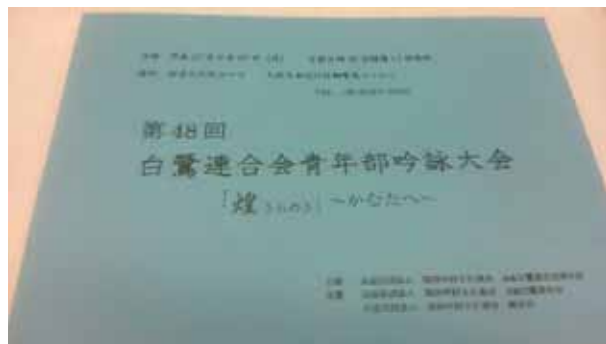
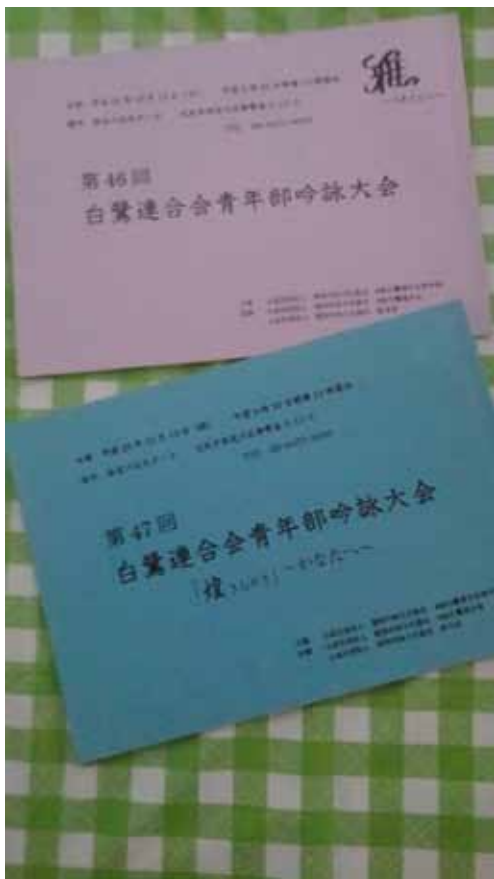
以上



四半世紀から半世紀に向けての

白鷺青年部大会プログラム冊子





まぼろしの 47 回大会（台風のため中止）